

15 ことわざ

プリンター

国語のワーク3・4年生

次のそれぞれの意味に合うことわざを後の□から選び「」に書きましょう。

① 実力のある人はそれを見せびらかしはしない。

「 能あるたかはつめをかくす 」

② 努力しなければ結果はついてこない。

「 まかぬ種は生えぬ 」

③ なんでも専門家にまかせるのがよい。

「 もちはもち屋 」

④ 中途半端で、使えない。

「 おびに短したすきに長し 」

⑤ 大切なもののために、他のものを失っても仕方がない。

「 背に腹はかえられぬ 」

⑥ 思いがけない幸運。

「 たなからぼたもち 」

⑦ 人は若いうちにきたえるべき

「 鉄は熱いうちに打て 」

もちほもち屋 能あるたかはつめをかくす まかぬ種は生えぬ

鉄は熱いうちに打て たなからぼたもち 背に腹はかえられぬ

おびに短したすきに長し

15 ことわざ

プリント2

国語のワーク3・4年生

次のそれぞれの意味に合うことわざを後の□から二つずつ選び「」に書きましよう。

① よくばって両方だめにする事。

「あぶはちとらず・二兎を追う者は一兎をも得ず」

② 他人のことにいそがしくて、自分には手がまわらない。

「医者の不養生・紺屋の白袴」

③ その道の名人でも失敗することがある。

「かっぱの川流れ・弘法も筆の誤り」

④ 手ごたえがなく、効き目がないこと。

「ぬかにくぎ・豆腐にかすがい」

⑤ 価値のあるものでも、人によってはありがたみがない。

「豚に真珠・猫に小判」

あぶはちとらず 豚に真珠 医者の不養生 ぬかにくぎ

豆腐にかすがい かっぱの川流れ 猫に小判 紺屋の白袴

弘法も筆の誤り 二兎を追う者は一兎をも得ず

15 ことわざ

プリント3

国語のワーク3・4年生

ことわざの意味と使い方について作文を書きましよう。後のことわざから一つ選
び、「例」を参考にして、作文を書きましよう。

〔例〕「泣きっ面にはち」

「泣きっ面にはち」とは、よくないことが重なるという意味です。たとえば、次のよ
うなときに使います。

宿題のノートを忘れてしまって先生に怒られた。さらに、その日返されたテストの
点数が悪かったので、家に帰ってお母さんにも怒られた。先生にも怒られ、お母さん
にも怒られ、さんざんだった。

このようなときに、

「先生にもお母さんにも怒られるなんて、泣き面にはちだ。」
と使います。

「どんぐりのせいぐらへ」

〔意味〕

どんなにくらべても同じようなものだ。

「仏の顔も三度」

〔意味〕

優しい人でも、何度もひどいことをされたら怒る。

ここにあることわざでうまく作文が書けない場合は、自分で
ことわざをさがし、意味を調べて書いてみましよう。

作文例① 「どんぐりのせいくらべ」

「どんぐりの背比べ」ということわざは、どんなに比べてもどれも同じようなものだという意味です。どんぐりは小さくて丸い木の実に、たくさん落ちていますが、一つ一つ見ても大きさや形はあまり変わりません。だから、どんぐり同士を比べても意味がないということですよ。

たとえば、クラスでテストの点数が発表されたとき、みんなが同じような点数だったとします。みんなが同じくらい勉強したから、点数に差がつかなかったのかもしれない。

このようなときに、それぞれの点数をくらべても意味がありませんので、

「どんぐりの背比べだね」と言っています。

作文例②

「仏の顔も三度」ということわざは、優しい人でも何度もひどいことをされると怒るといえる意味です。仏は優しくしておだやかな顔をしています。そんな仏のような優しい人でも、何度もばかにされたり、ひどいことをされたりすると怒ります。

だから、もし人の優しさにつけこんで、ばかにしたりひどいことをしたりする人がいたら、

「仏の顔も三度だよ」

と言って、気をつけるように注意します。